

# 静岡「その時」全4回

第19回を迎えた駿府博物館短期歴史講座。  
今回は「静岡『その時』」というテーマの下、静岡県を動かした  
「人」「モノ」にスポットを当て、広く県民の皆さまが  
興味を持って楽しく歴史を学ぶ場を提供していきます。

2022年10月1日開講!

会場 **静岡県産業経済会館**

(静岡市葵区追手町44-1 電話054-273-4330)

例年と会場が違いますので、ご注意ください。

受講料 一般 **5,000円** / 大学生・大学院生 **3,000円** / 高校生 **2,000円**

※税込、全4回分 資料代含む。※学生は必ず学生証をご提示ください。ご提示がない場合は一般料金となります。

※受講料は初回(10/1)の受付の際、お支払いください。

注意

- マスク着用をお願いします。
- 体温37度以上の方は参加をお断りします。
- 参加資格は静岡県内在住者に限定します。
- 当日前の2週間は海外渡航、3密の場所を控えてください。
- 中止または会場の変更となる場合があります。

お申し込み  
締め切り  
**8月31日水**  
先着 **60人**

▶開催日時と講義テーマ▶▶▶

■第1回■

10月1日(土) 13:30~15:30

「三島由紀夫、最後の小説『天人五衰』と清水」

講師/小二田誠二氏

(静岡大学 人文社会科学部 言語文化学科 教授)

三島は11月25日に亡くなる1970年の春から夏にかけて旧清水市の駒越地区に7~8回、取材に訪れています。三島が仏教の輪廻転生を壮大なスケールで書いた物語の最終章になぜ、清水の地を選んだのか。このほど見つかった作品にも出てくる「投光器」などを切り口に語っていただきます。



三島由紀夫の遺作に描かれた投光器

■第2回■

10月8日(土) 13:30~15:30

「鎌倉幕府草創の地 伊豆の国の中世」

講師/池谷初恵氏

(伊豆の国市教育委員会 文化財調査員)

北条政子・義時が生まれた里、源頼朝挙兵の地である伊豆の国市には、ゆかりの史跡や寺院が多く残っています。特に近年の発掘調査では北条氏の館跡が明らかになっています。伊豆から鎌倉へつながる武士の世のストーリーを、考古学から探っていきます。



北条義時が建立した北條寺

■第3回■

10月29日(土) 13:30~15:30

「新居関所から見る江戸時代の静岡県」

講師/切池融氏

(元湖西市文化課課長)

新居関所は全国で唯一現存する関所です。明治時代、新居町役場などとして活用されたため、現在でも貴重な姿を見ることができます。切池融氏は湖西市職員として長年、文化行政に携わり、新居関所、隣接する史料館の所蔵品について知り尽くしています。新居関所を江戸時代の姿に近づけるため、大御門の再建などに取り組みました。静岡県の西の玄関口にある新居関所から静岡県を見ると、どのように見えるのでしょうか。



唯一現存する関所 新居関所

■第4回■

11月5日(土) 13:30~15:30

「報徳思想が静岡県に与えた影響」

講師/足立洋一郎氏

(静岡県近代史研究会幹事、県立浜松視覚特別支援学校教諭)

足立洋一郎氏は「近代日本社会形成期における報徳運動の研究」で平成24年、明治大学から博士(史学)を授与されています。掛川市には重要文化財になっている大日本報徳社の大講堂があり、報徳思想による道徳と経済の調和した社会の実現に向け、活発な活動が展開されています。二宮尊徳の報徳思想の理念や人々に与えた影響について、分かりやすく紹介します。



報徳思想を伝える大日本報徳社

お申し込み  
お問合わせ

郵便番号・住所・氏名・電話番号を下記のいずれかの方法でお伝えください。

TEL:054-284-3216(月曜~金曜 9:00~17:00) FAX:054-284-3279

E-mail:sumpu@shizuokaonline.com



※お申し込みいただいた方には、締め切り後に案内状・受講カードを送付いたします。  
※ご記入いただいた個人情報、短期歴史講座の連絡、同講座の来年度以降のご案内のみに活用させていただきます。

主催/駿府博物館(公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団) 協力/静岡県近代史研究会  
後援/静岡新聞社・静岡放送



S U M P U M U S E U M

駿府博物館

公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団  
静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡新聞放送会館別館2階  
TEL.054-284-3216 http://www.sbs-bunkafukushi.com/